

SSH生徒研究発表会

日 時 : 8月4日(火)～8月6日(木)

会 場 : インテックス大阪 〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1-5-102

参加生徒 : 高校2年生1名

引率教員 : 戸田 洋平

【日程】

8月4日(火)

10:28 出発

金光駅(JR 山陽本線)⇒岡山駅, 岡山駅発(東海道・山陽新幹線)⇒新大阪駅

新大阪駅(JR 東海道・山陽本線)⇒大阪駅, 大阪駅(大阪環状線)⇒弁天町駅

弁天町駅(大阪市営中央線)⇒コスモスクエア,

コスモスクエア(大阪市営ニュートラム)⇒中ふ頭, 中ふ頭(徒歩)⇒インテックス大阪

13:30 インテックス大阪着

受付を行い、ポスター会場の準備やアピールタイムの打ち合わせを行った。その後ブースで2時間程かけて発表練習をした。落ち着いて話せるが、抑揚をつけながら研究のポイントを強調して言ったりする部分は、少し弱いような気がしたので質疑応答の練習も兼ねて、ホテルで練習を行った。

8月5日(水)

発表会初日は、東京理科大学学長の藤嶋昭先生の講演を聞いた。この方は、光触媒の TiO_2 を世界で初めて発見された方で、壇上で実験も行いながら科学の面白さや偉人についての話をされた。とてもよい話で多くの学園生に聞かせることでできてよかった。

その後は、2時間ほどの評価のポスター発表を行った。一人での発表だったが、堂々ということができた。講評者には、この研究はおもしろいから是非続けてほしいと言われた。

一方で、自分のやったことをもっとアピールできる組み立てにした方がよいとも言われた。

午後からは、一般公開のポスター発表を3時間ほど行った。回数を重ねるごとにどんどん発表がうまくなり、自信がついていったように感じた。発表がずっと続いていたので、途中で少し休憩をとるようにすすめたが、発表が楽しいから続けたいといった様子だった。ご両親も発表を見に来られて、いきいきと楽しんで発表している姿を見て満足されていた。

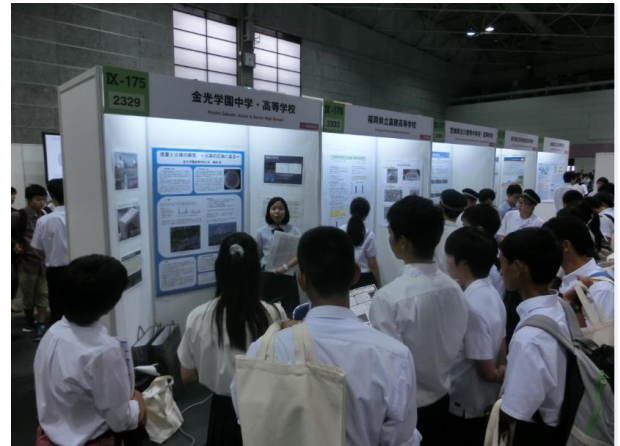
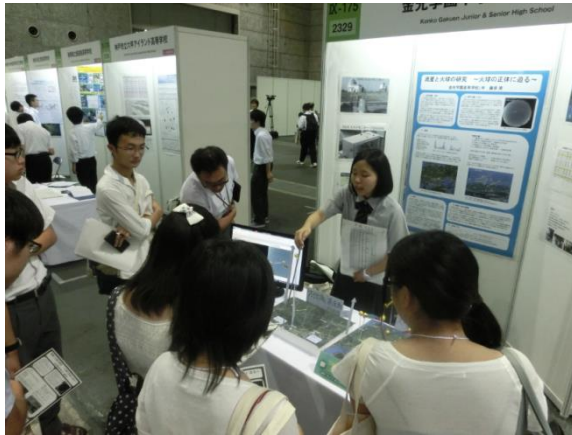


8月6日(木)

午前の口頭発表、午後はポスター発表と評価・講評であった。口頭発表は、SSH指定3年目の代表校5校によるものであったが、その中で文部科学大臣賞に選ばれたのは、熊本県の宇土高等学校の「”副実像”の出現位置の数式化に成功」であった。レンズにできる実像のさらに内側にできる(あまり知られていない)副実像について、通常のレンズの公式

のように、a、b、fについてシンプルな数式で表すことに成功。高校生の新たな発見を発表したものであった。

午後からのポスター発表では、昨日と同様、ブースの前にはひっきりなしに興味をもった人が発表を聞きにきていた。8月に入って作成した流星の模型が人の目を惹いたのかもしれない。今回は賞には入らなかったものの、good job シールを他校に比べてもたくさんもらうことができ、これも本人の自信につながったのではないかなと思う。



15:30 インテックス大阪発

経路は往路と同じ

18:42 金光着